

令和7年度 次世代創出PBL推進事業
実施報告書【STEAM教育推進校用】

学校番号	12
学校名	富山県立富山高等学校

重点課題	自己のウェルビーイングの向上をとし人類の発展的未來に貢献する人材の育成	
課題設定の趣旨	本校は「自学・自楽する18歳へ」をグラデュエーション・ポリシーとし、教科等横断的な思考力や創造力、批判的な思考力を涵養するために、プロジェクト学習やSTEAM教育等を推進している。自身の未來と社会および地球の未來の交わりを意識し、発展的未來の創造に役割を果たすため、主体的に課題を発見し解決する力や他者との対話と協働によって解決策を生み出す力を育成し、魅力ある高校教育を通じたウェルビーイングの向上を目指すとともに、教育目標に掲げる「人類の発展的未來に貢献する人間の育成」に努めている。そのための方策として、次の4点を柱として取組を進める。 1. 外部の資源を活用したSTEAM教育の推進 2. 探究活動の充実につながる評価の実施及び各取組の効果の検証 3. STEAM教育に関する教員の指導力向上 4. 異文化理解教育と体験型学習による国際舞台で活躍するリーダーの育成	
中長期ビジョンを実現するための今後の重点事項	魅力ある高校教育を通じたウェルビーイングの向上と、教育目標に掲げる「人類の発展的未來に貢献する人間の育成」を目指す。まず、一人ひとりのウェルビーイングの向上と課題への挑戦を実現する教育、課題発見と解決を導く探究力の育成のため、STEAM教育推進のため教員の指導力向上が求められる。また、探究活動の評価を随時改善していくことで、生徒自身の自己分析能力等を高め、探究活動の一層の充実を図るとともに、外部資源を開拓し、その継続的活用による持続可能なカリキュラムと校内指導体制の構築を進めたい。さらに、他の高校や中学校等への実践成果等の発信をとおして、県内におけるSTEAM教育の発信とさらなる推進・普及に努める。	
実施内容 (具体的に記入する)	1. 外部の資源を活用したSTEAM教育の推進 ① 高等教育機関、地域と連携した探究活動の実施 ・「総合的な探究の時間」において富山大学・地元企業などと連携し、課題解決を創造する教科等横断的な探究活動を実施 ・課題研究において、ウェルビーイングの視点を取り入れた研究テーマを設定 ② 中学校や地域への教科等横断的な学習の実践成果等の発信と意見聴取 ・オープンハイスクールや学校説明会で中学生や中学校教員に本校の取り組みを発信 ・保護者や地域の方々、他校生徒や中学生等を対象に、ポスターセッションを実施 (文化活動発表会、探究科学科三校合同課題研究発表会、とやま探究フォーラム) ③ 外部コンテスト等における実践成果の発信 ・日経ストックリーグへの参加(2チーム参加、うち1チーム入選) ④ STEAM教育の実践における情報収集と発信に伴う統計分析手法や情報モラルの研修 ・データサイエンス講習会、ネットリテラシーに関する講座、生成AI活用講習会を実施 2. 探究活動の充実につながる評価の実施及び各取組の効果の検証 ① ルーブリックの活用と教育活動全体への展開 ・「富山高校で育む10の力」を評価するルーブリックを活用し、学期ごとに生徒の自己評価を実施 ・自己評価の結果から生徒の変容を把握し、教育活動の効果を検証 ② 「探究ノート」の作成と評価への活用 ・本校独自の「探究ノート」を作成し、探究過程の記録および振り返りに活用 ・「探究ノート」の記録を評価に反映させ、教育活動の効果を検証 3. STEAM教育推進のための教員の指導力向上 ① STEAM教育先進校の視察 ・県外9校への視察に延べ25名が参加し、得られた知見を全教職員で共有 ② STEAM教育先進校の教員を招聘しての講座 ・県外高校よりSTEAM教育担当者を招聘しての校内研修 ③ 学校訪問研修会における協議 ・学校訪問研修会領域別協議において、現状の課題と指導のあり方について協議 4. 異文化理解教育と体験型学習による国際舞台で活躍するリーダーの育成 ・アメリカ合衆国カリフォルニア州において、異文化理解ワークショップやグローバルリーダー研修を実施 ・国内で研究活動を行う外国人研究者を招いての英語による研究紹介	
取組の成果 (STEAM教育推進の観点から)	今年度も引き続き、学校の教育活動全体においてSTEAM教育および教科等横断的な学びを推進し、探究的に学ぶ姿勢と論理的思考力を育成することとで、社会課題の解決に貢献できる人材の育成に取り組んだ。 1学年では、外部講師を活用して「考えるための技法」を自在に活用する方法を学びながら基礎的な探究学習に取り組み、地域企業と連携した課題研究に挑戦した。2学年では、高等教育機関や官公庁、地域企業と連携し、各学問領域における課題解決に向けて、仮説設定・検証・考察のプロセスを通して探究的思考を深め、対話的・協働的な学びを充実させた。3学年では、1・2学年次の探究活動での学びを生かし、学校行事の企画・運営や学習等の様々な活動に意欲的に取り組んだ。 今年度より、2学年普通科「未来〇学」(総合的な探究の時間)は活動内容の充実を図るため、2単位での実施とするカリキュラム変更を行った。活動内容は活動内容はゼロベースからの構築であったが、富山大学等の高等教育機関だけでなく官公庁や地域企業とも連携し、文理の類型を超えて各自の興味・関心に応じた班編成で教科横断的課題解決活動や地域課題解決型の活動を行うことができた。 また、校外におけるSTEAM教育の発信の機会を積極的に活用することで、中学校や地域、他の高等学校への実践成果の発信を行った。 教員の指導力向上に関しては、STEAM教育先進校より担当教員を招聘して校内研修会を実施するとともに、先進校視察にも多くの教員が参加した。これらの研修を通して、具体的な指導法や汎用性のあるツール、科学的手法について理解を深め、探究的な学びにおける教員の指導力向上を図った。STEAM教育を推進する原動力として、持続可能な指導体制の構築し、次年度以降の教育活動につなげていく。	
対象者(学年・人数など)	1学年普通科160名 1学年探究科学科80名 2学年普通科159名 2学年探究科学科80名	
実施実績	4月	1学年:普通科「未来〇学」(総合的な探究の時間)(~3月)・探究科学科:「探究基礎Ⅰ」課題研究(~3月) 2学年:普通科「未来〇学」(総合的な探究の時間)(~3月)・人文社会科学科「探究基礎Ⅱ」課題研究(~3月)・理数科学科「理数探究」課題研究(~3月)
	5月	
	6月	1学年普通科・探究科学科:データサイエンス講習会 1学年人文社会科学科:巡検研修・国際理解出前講座 探究科学科パンフレット作成 学校説明会
	7月	2学年普通科・探究科学科:国際理解講座 1学年普通科・探究科学科:ネットリテラシー講座 1学年探究科学科:巡検事前研修 1学年探究科学科:巡検研修 オープンハイスクール
	8月	「未来〇学」フライヤー作成 2学年探究科学科:東京方面研修
	9月	1学年探究科学科:課題研究中間発表会 2学年探究科学科:課題研究中間発表会 2学年普通科:探究活動外部講師講習会
	10月	1学年普通科・人文社会科学科:探究活動ガイダンス 1学年普通科:企業連携課題設定説明会 教員:総合的な探究の時間・STEAM教育の先進的取り組み研修及び意見交換会
	11月	学校説明会
	12月	1学年探究科学科:「探究基礎」校内発表会 2学年普通科:「未来〇学」中間発表会 1・2学年探究科学科:三校合同課題研究発表会
	1月	1学年理数科学科:探究活動ガイダンス 1学年探究科学科:「サイエンスダイアログ」英語による先進研究学習 1学年探究科学科(化学班)・2学年普通科(芸術班)・2学年人文社会科学科(英語班)・1,2学年海外研修:「とやま探究フォーラム」発表 2学年理数科学科(物理班):「とやまDXハイスクールフォーラム」発表
	2月	2学年普通科・探究科学科:「未来〇学」課題研究校内発表会 1学年普通科・探究科学科「生成AI活用講習会」
	3月	1学年普通科:「未来〇学」校内発表会 1学年探究科学科:研究集録作成 2学年普通科・探究科学科:研究集録作成